

永 福 小 学 校

児童と地域と共にある学校図書館

今の学校図書館

- ・『やさしく つよく』という学校目標のもと、読書活動を推進し、豊かな人間性、豊かな心、健やかな精神をはぐくむことのできる図書館を目指している。
- ・学校支援本部をはじめ、地域や保護者の方々の協力もあり、活動の充実や環境整備が図られている。

学校図書館の運営

- ・読書センターだけでなく、学習センター・情報センターとして活用できる蔵書構成を考えた選書。
- ・様々な本との出会いが生まれるよう、季節や行事、新刊、話題になっていることに関連した本の紹介と掲示。
- ・学校図書館だよりの作成と配布、学校ホームページへの掲載。

1年間の主な活動

- ・学習において日常的に活用できるよう、教員に向けたオリエンテーションを実施
- ・並行読書や調べ学習のための図書資料の準備と提供（必要に応じて公共図書館も活用）
- ・読書月間の実施（6月と2月）
「本の福袋」↓



特色ある取組

☆読書月間の実施（年2回）

- ・図書委員会による活動
- ① 『本の福袋』（中身がわからないように袋に入れ、袋に書いた紹介を見てその本を借りて読む）
- ② 『読書ビンゴ』（様々な本に親しむことができるように、お題にある本を読んだら色を塗ってビンゴになるようにする）
- ③ 『給食コラボ』（図書委員がメニュー案を考え、栄養士と相談して実施）
- ④ 『お話ランド』（担任以外の出前読み聞かせ、全教職員によるおすすめ本の選書と掲示）
- ⑤ 『図書館のSDGs』（除籍本のリサイクルBOOKフェア）

☆地域や保護者と連携した活動の実施

- ・支援本部と連携した活動の実施（授業の中で支援本部の方に「語り」をしてもらう）
- ・保護者による読み聞かせ（年8回）
- ・影絵人形劇団ミモザによる公演
- ・図書館サポート隊による活動支援（本の修理、学校図書館の装飾、学級文庫整備）

これからの学校図書館

- ・メディアを活用した利用指導の実施など、児童の情報活用能力の育成に力を入れていきたい。
- また、児童や地域・保護者と共に読書活動のさらなる充実を図っていく。